

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成27年 1月26日更新

事務事業名		家族介護支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	担当名	安武 祐次
	施策	16	高齢者の自立と社会参加の促進			所属課	高齢者支援課	担当者名	渡辺 良輔
	基本事業	50	高齢者支援体制の充実			所属班	包括支援センター班 (内線)		2143
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	介護保険法合志市高齢者の家族介護支援実施要綱		
		11	2	5	10474 他			成果優先度評価結果	⑧
								コスト削減優先度評価結果	—
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	高齢者を介護している家族の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るとともに、要介護高齢者の在宅生活の継続、向上を図る。平成12年度より、地域ささえあい事業として開始。旧合志町では行っていなかったが、旧西合志町で行っていたので摺り合わせし、合併後も行っている。確実に地域住民の関心は高まり、高齢者を抱える家族の受講が毎年多くなってきており、定員オーバーする状況である。事業に求められる内容が高度化してきている。認知症に関する教室は、家族や不安を抱える高齢者にまで関心が高まっている。 平成25年度から事業趣旨が同一である家族介護者交流事業と事業を統合し、名称を家族介護教室から家族介護支援事業に改めた。
【業務の流れ】	事業については、合志市社会福祉協議会に委託する。業務委託契約書作成、実績報告書提出されたあとに委託料支払い。
【主な予算費目】	委託料。
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	教室の回数、時間帯(夜間、休日)対応の要望があっている。同じ境遇の方との交流が図れるため今後も続けてほしい等の意見があった。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	社会福祉協議会が介護者を対象に介護の知識・技術を習得するため開催している教室の事業に対する委託料	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人	予算の主な増減の理由
→ ア: 教室の参加者数	人	委託事業所の人件費等見直しに伴う委託料の増
→ イ: 教室の開催回数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	介護認定者や高齢者を介護している家族介護認定者や高齢者を介護している近隣の援助者。	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 人
		→ ア: 介護認定者や高齢者介護している家族数
		→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	介護認定者や高齢者を介護している家族、近隣の援助者が介護方法・介護予防の知識、技術が習得できる。支援者同士の交流が図られる。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) 人
		→ ア: 介護方法・予防の知識・技術を習得した人数
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
意図が、介護認定者や高齢者を介護している家族、近隣の援助者が介護方法・介護予防の知識、技術が習得できるとしているため、介護の技術を習得した人数とした。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	23年度実績(決算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	27年度予定	28年度見込	29年度見込	
① 活動指標	ア 人		160	125	130	102	130	130	130	130	
	イ 回		6	6	6	6	6	6	6	6	
② 対象指標	ア 人		2,059	2,044	2,050	2,394	2,100	2,150	2,200	2,250	
	イ										
③ 成果指標	ア 人		160	125	130	102	130	130	130	130	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	189	206	381	377	395	406	406	406
		都道府県支出金	千円	95	103	191	188	198	203	203	203
		地方債	千円								
		その他	千円	91	111	202	201	210	216	216	216
		繰入金	千円								
	一般財源	一般財源	千円	98	102	182	188	198	206	206	206
		(A) 事業費計	千円	473	522	956	954	1,001	1,031	1,031	1,031
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	人	2	3	3	2	3	3	3	3
人件費	正規職員従事人数	人	2	3	3	2	3	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	20	100	100	20	100	100	100	100	
	(B) 人件費計	千円	80	407	407	79	407	407	407	407	
トータルコスト(A)+(B)		千円	553	929	1,363	1,033	1,408	1,438	1,438	1,438	

事務事業名	家族介護支援事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 介護を必要とする人が増えるにつれ、介護に対する知識を習得しようとする人も増えている。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ⇒
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 介護を必要とする人が増えるにつれ、介護に対する知識を習得しようとする人、同じ課題を抱える介護者間交流を図りたいと思う人が増えてきているため。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ⇒
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 介護方法・介護予防の知識、技術を習得し及び認知症に対する知識を習得するために、継続して開催しているため向上の余地は無い。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 家族介護教室を他で実施している事業がない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ⇒
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 委託して事業を行っており、必要最小限の事業費にて行っているため削減の余地は無い。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 委託で行っているため。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 適宜、会場を旧町単位で実施し、且つ無料で実施している。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ⇒
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 専門的知識を有する事業者に委託しているが、行政も積極的に参加している。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ⇒

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

介護の知識・技術の習得に繋がる。また同じ境遇の人と交流できるため参加者の満足度が非常に高い。引き続き実施していきたい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					